

令和4年度 一般会計決算

まちの家計簿

町では昨年度、集落支援、子育て支援、保健・医療・福祉の連携、学校教育、町のにぎわい創出など、安心と活力あるまちづくりに、約46億5052万円を支出しました。
町がどのようにお金を使い、どのように生かされたのかお知らせします。

一般会計

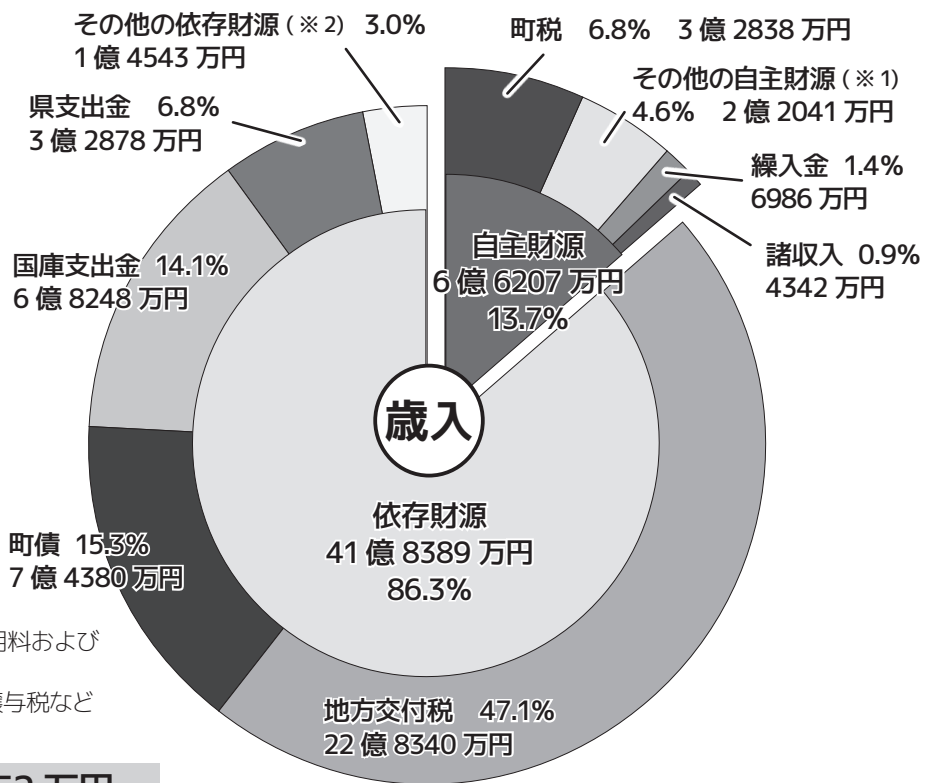
1 CHECK 一般会計歳入

令和4年度一般会計の歳入総額は、前年度と比べ約10.4%増の約48億4596万円。

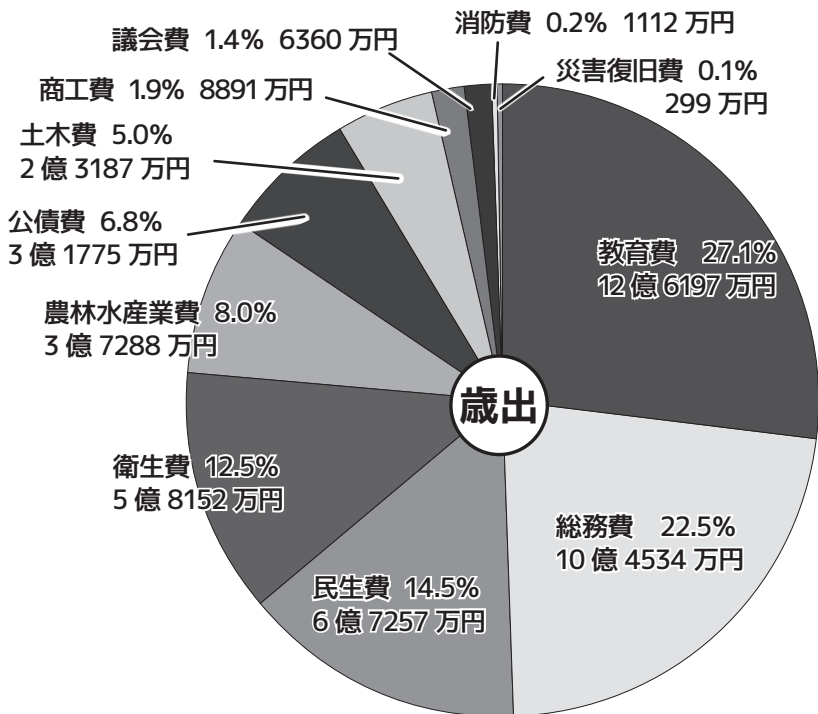
- 前年度と比べると、
 - ・地方交付税などの国や県に依存する財源は約14.9%増。その中で、国から交付される地方交付税は歳入総額の約47.1%と大きな割合を占めています。
 - ・町税などの自主財源は、約11.7%減。町税は3億2838万円（前年度比5.4%減）で、基金からの繰入金は6986万円（前年度比16.9%増）です。
- 依然として、地方交付税などの依存財源に頼っているのが現状です。限られた予算の中で、町の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

※1 その他の自主財源内訳…分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄付金、繰越金
 ※2 その他の依存財源内訳…地方消費税交付金、地方譲与税など

一般会計歳入総額 48億4596万円



一般会計歳出総額 46億5052万円



2 CHECK 一般会計歳出

令和4年度予算は、「第2次きらり日野町創生戦略」のもと、日野町における地方創生の実現を目指しました。歳出総額は、前年度と比べ約9%増となりました。

歳出全体に占める割合で見ると、総務費が約10億4534万円（前年度比32.8%減）、土木費が2億3187万円（前年度比26.9%減）、災害復旧費が299万円（前年度比84.9%減）で大幅に減少。教育費が12億6197万円（前年度比312.4%増）、商工費が8891万円（前年度比37.3%増）、公債費が3億1775万円（前年度比25.9%増）で、大幅に増加しました。

長期的な計画に基づき、借金返済額（公債費）が大きな負担にならないよう財政運営をすすめていきます。

特別会計

3 CHECK 特定の目的を持った会計

町には一般会計とは別にそれぞれで運営されている6つの特別会計があります。令和4年度の決算は右表のとおりです。令和4年度は一般会計から合計約2億2758万円を繰り出しています。前年と比較して1798万円増加(8.6%増)しました。

特別会計は、医療や介護にかかる費用が多くなればなるほど町の負担も増え、一般会計を圧迫する仕組みとなっています。

会計名	決算額		歳入歳出差引額	前年度比
	歳入	歳出		
国民健康保険特別会計	歳入	3億5940万円	784万円	△12.4%
	歳出	3億5156万円		△12.7%
介護保険特別会計	歳入	6億1991万円	5423万円	△3.9%
	歳出	5億6568万円		△6.7%
後期高齢者医療保険特別会計	歳入	5676万円	12万円	7.9%
	歳出	5664万円		7.9%
簡易水道特別会計	歳入	7691万円	1万円	△28.7%
	歳出	7690万円		△28.7%
公共下水道事業特別会計	歳入	9466万円	6万円	8.7%
	歳出	9460万円		8.6%
農業集落排水事業特別会計	歳入	4404万円	6万円	5.9%
	歳出	4398万円		5.7%

財政健全化比率・まちの貯金

4 CHECK 家計のやりくり度をチェック!

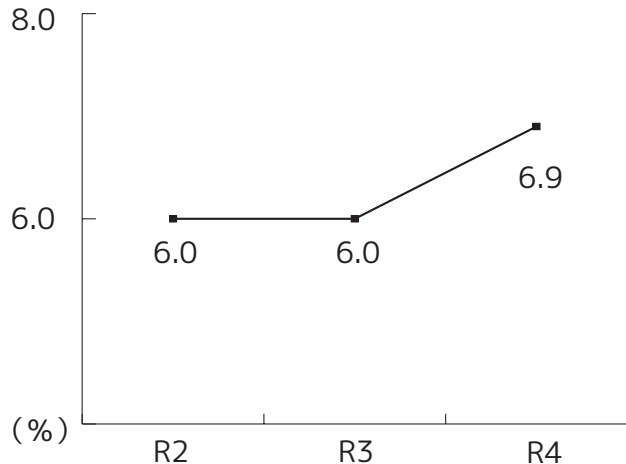
4つの指標で自治体の財政健全化を表す「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和4年度の各比率を公表します。

4つの指標のうち、1つでも国が定めた基準を超えた自治体は「財政再生団体」または「健全化団体」となりますが、日野町はすべての指標で基準を下回っています。

日野町の財政4指標の数値(令和4年度決算)

	財政再生基準	早期健全化基準	日野町
実質赤字比率	20%以上	15%以上	—
連結実質赤字比率	30%以上	20%以上	—
実質公債費比率	35%以上	25%以上	6.9%
将来負担比率	—	350%以上	—

実質公債費比率の推移(過去3年)



実質赤字比率 … 財政規模に対する一般会計などの赤字の占める割合を表します。

連結赤字比率 … 財政規模に対する一般会計、特別会計を含めた全会計の赤字の占める割合を表します。

実質公債費比率 … 各自治体における財政負担の度合いを判断する指標。1年間の収入に対する借金返済の負担割合です。

将来負担比率 … 各自治体が将来負担すべき負債が、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。

5 CHECK いざという時の備えに

町では、目的別に財政調整基金や町営バス購入基金、観光事業基金、愛と元気の日野町ふるさと基金(ふるさと納税)など、毎年基金を積み立てています。その額は、今年度34億円を超えました。

しかし、老朽化した公共施設の修繕や改修、そしていつ災害などに見舞われるかわかりません。町の公共施設の長寿命化を図る町公共施設等長寿命化基金や財政推計をもとに、今後も長期的な計画に基づき基金を積み立てながら、効果的な基金の活用を図ります。



まちの基金(貯金)残高(過去3年)

